

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・ 今月は3か月前よりは良いが、予断を許す状態ではない。新型コロナウイルスの感染拡大が進めば、人流を抑制しなくてはいけないので、なるべくこれ以上感染が拡大しないように、社会全体で気を付けることが大切である。
	○	一般小売店〔土産〕 (経営者)	販売量の動き	・ コロナ禍以前の2019年と比較した売上達成率は、3か月前に当たる4月は28%だったのに対し、今月は45%で、売上が増えているので上向きと感じられる。今月前半は修学旅行や遠足等、学生関連の団体客が多くみられた。また、東京オリンピックの開会式に合わせた4連休に、多くの個人観光客が来店し、ゴールデンウィーク以来の売上の多さである。
	○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ 新型コロナウイルスのワクチンを2回接種した客が戻りつつあり、衣料品の動きが回復傾向にある。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・ 徐々にではあるが、日々の来店客数がプラス傾向にある。特に、週末はその傾向が顕著となっている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・ 前年7月よりも10日ほど早く梅雨が明けたため、アイスクリーム、ドリンク、冷たい麺等が売れている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ 気温の上昇とともに、ドリンク等の売上や来客数も増えている。また、東京オリンピック効果で、在宅でテレビ鑑賞するためのまとめ買いも増えている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ 前年比、売上はプラス2万8000円で105%、来客数は20人増で103%、客単価は21円プラスの103%となっている。6月より回復傾向がみられる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕 (経営者)	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、人の動きがやや活発になり始めてきている。
	○	その他飲食〔給食・レストラン〕 (総務)	販売量の動き	・ 当社のメインである社員食堂を始めとした事業所給食は、受注を回復しているメーカーも多く、提供食数全体では、増加傾向が続いている。一方、飲食部門は、少人数グループの取り込みができていない所ではばん回できているものの、総じて低調に推移している。
	○	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・ 夏休みや東京オリンピックも始まり、また、新型コロナウイルスによる自粛の反動もあり、県外客の動きが出てきている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ 法人や団体の動きのみならず、個人客にも動きが出てきている。ゼロから比べて進歩だと感じている。
	○	通信会社（局長）	販売量の動き	・ 来客数は横ばいで推移しているが、客の購買意欲は良くなってきていると感じている。
	○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・ Withコロナに慣れて、ワクチン接種が進むことも踏まえてか、客が動き出している。新型コロナウイルス後の生活を想定できるようになってきたのではないかと。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・ 当県独自の規制により、来街者数が前月より激減している。東京オリンピックのテレビ観戦や猛暑による巣籠りなのか、高齢者の来店がなくなっている。
	□	一般小売店〔精肉〕 (経営者)	お客様の様子	・ 新型コロナウイルスの影響で、毎月同じような状態が続いている。地域の七夕祭りもできなかつた。梅雨が明けたら毎日が猛暑で、人の動きは余りない。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・ 当県は、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加は抑制できているものの、不要不急の外出には依然として慎重な傾向が見受けられ、来店客数は少ないままである。引き続き、食料品や中元ギフトなどは堅調なもの、衣料品は厳しい状況が続いている。
□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ 食品は変わらず堅調だが、衣料品を中心とした非食品群の不振が継続している。夏物クリアランスも盛況とはいえず、苦しい状況に変わりはない。	
□	衣料品専門店 (統括)	来客数の動き	・ 本来なら、夏祭りがこれから始まる時期だが、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、なかなか祭りが開催できない。客もほとんど動きがない。	

□	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・このところ、ずっと来客数が激減していたが、今月上旬に若干、新型コロナウイルスのワクチン接種をした高齢の客たちが、足を運んでくれた。それもつかの間で、首都圏の緊急事態宣言発出と東京オリンピックが始まった途端、入出はかなり悪くなっている。それこそ、毎日ゼロ更新を続けている状況である。
□	家電量販店 (店長)	販売量の動き	・梅雨が明けても、前年より夏物商材の動きが鈍感である。テレビの動きも東京オリンピック需要は少ない。
□	家電量販店 (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍での東京オリンピック開催で、映像商材の動きに期待していたが、来店客を増やすことができず、売上は前年比87%となっている。
□	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・当社は観光地を控えた立地のため、顧客であるホテル、旅館業、ドライブイン関係に新型コロナウイルス禍で客が来ないので、新型コロナウイルスが落ち着くまでは難しいと思っている。ワクチン接種が多少浸透してきたことで、良くなっていると思うが、それでも来店客は少なく、3か月前と全く変わっていない。
□	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・何か小さなイベントがあれば、来客数がどっと増える一方、ふだんは少ない。来客数が日によって極端である。
□	その他飲食 [ファースト フード] (経営者)	来客数の動き	・急に暑くなり、夕方には雷雨等が多くなったり、新型コロナウイルスの感染者数も非常に増えてきたことが要因でやや悪くなっている。
□	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・今月の4連休は、宿泊が大分にぎわったものの、それ以外は依然として低調である。料飲部門は、連休効果もほとんどなく、厳しい状況に変わらない。
□	旅行代理店 (経営者)	来客数の動き	・東京都に緊急事態宣言が発出されているため、夏休み中の申込みが10件ほどしかない。
□	タクシー (経営者)	お客様の様子	・7月は新型コロナウイルスのワクチン接種会場までのタクシー無料券が出たことや昼の動きが少し良かったので、前年同月比38%の増収である。ただし、タクシー無料券分の売上を差し引くと、前年同月比16%の減収である。
□	通信会社 (総務担当)	販売量の動き	・需要は安定している。
□	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・東京オリンピック関連の4連休は特需となり、来園者数が増えたものの、依然として平日は厳しい状況が続いている。
□	美容室 (経営者)	来客数の動き	・内閣は「国民の安心安全を守る」と耳にタコができるくらい同じことを唱えるばかりで、何も伝わってこない。質問に正面から答えられない首相では支持は得られない。
□	設計事務所 (所長)	お客様の様子	・飲食店に客が徐々に戻ってきたものの、まだ新型コロナウイルスのワクチンの未接種者が多く、宴会等は開催できない状況である。建設もウッドショックによる資材高騰で、低迷している。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・最近になって、貸店舗、貸事務所の引き合いや問合せがちらほら増えてきている。特に、飲食店や塾関係の引き合いが大変増えているような感じがする。ただし、いまだに夜の商売が悪いので、相変わらず停滞している。
▲	スーパー (商品部担当)	単価の動き	・人の動きが大分目立つようになってきているものの、客単価の落ち込みが大きく、売上の伸び悩み状況が続いている。
▲	家電量販店 (店員)	販売量の動き	・景気の方は弱まっている。季節指数の高いエアコンは伸びたものの、他の白物家電や映像商材等が前年を下回っている。売上は前月比では122%だが、前年比では97%となっており、前年は超えられていない。
▲	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・6月下旬から新車、中古車の販売が落ち始めてきている。ただし、受注残があるので、まだひっ迫感は感じていないが、先が思いやられる。

	▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量や来客数等が、過去3か月間と比較して、段々落ち込んでいる。人の動きが少なくなっていることが原因である。
	▲	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・梅雨が明け、気温の上昇とともに夏物の動きは良くなってきたものの、来客数が増えない。アウトドアレジャー関連は活況だが、生活品やその他のマイナス分を埋め切れていない。
	▲	その他専門店 〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・受注と受注残が減少している。
	▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数がまた増えてきたせいか、人の動きが鈍い。
	▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者数の急増により、今後、人流や外出減少のあおりを受けて消費も低下する可能性が高い。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・周辺が夜の繁華街のため、客足が依然として少なくなっている。
	▲	競輪場（職員）	来客数の動き	・夏場になり、暑さと首都圏の新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあることから、来場者自体が少しずつ減少傾向にある。
	▲	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス次第である。なるべく外出しないという客が増え、来店数は前年比60%となっている。不要不急の整備依頼のうち、予防整備提案は50%減、見た目美観上の板金塗装は70%減となっており、僅かに好調なのは時間貸し格安レンタカーのみである。
	▲	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・国内の材木不足（ウッドショック）による住宅建築材高騰の影響で、不動産の動きがかなり鈍くなりほとんど動いていない。回復が見通せず、どんどん悪くなっていくことが予想される。
	×	住関連専門店（店長）	それ以外	・東京オリンピック開催と緊急事態宣言中で、個人の販売動向が読めない状況である。新型コロナウイルス禍も1年以上が経過し、特別な需要は見込めない。
	×	その他専門店 〔靴小売業〕（経営者）	お客様の様子	・前年の今頃は各地でプレミアム付商品券等の地域活性化策があり、新型コロナウイルスも鎮静化してきた場面だったため、売上も良かった。しかし、今年は活性化策も何もなく、今も新型コロナウイルスの状況は読めず、巣籠り需要を取り込めていないため、大変悪い。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・飲食店の営業時短要請や酒類販売自粛要請等で、外食産業が衰退している。
	×	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・東京都の緊急事態宣言発出に加えて、首都圏3県も宣言の追加となる。さらに、当県の新型コロナウイルス感染者数も大きく増え、まん延防止等重点措置の適用申請を行うほどの状況である。首都圏からの教育旅行のほとんどがキャンセルとなり、個人旅行も手控えとなっている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・4回目の緊急事態宣言が発出されて、地方ではますます人通りがなく、昼夜問わずひっそりとしている。営業車を3分の1に減らしても、1台あたりの営業収入は2万円程度である。雇用調整助成金が12月末まで延長になったようで、どうにか助かる。
	×	タクシー（役員）	それ以外	・国の新型コロナウイルス対策が全く駄目過ぎて、あきれている。
企業動向関連	◎	—	—	—
(北関東)	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は徐々に増えつつあるが、IC等の部品関係が入らない。取引先から、発注している部品が来ないために製品を組めないのでもっと待ってほしいという話などあり、発注数が落ちてきたりしている。IC、端子、コネクタ、何から何まで全ての部品が入荷してこない。部品が入ってくれば上向くが、そうでなければ、かなりひどい状況になる。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子や受注量等が、大分良くなっている。

	○	金融業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先のヒアリングをしていると、「まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等に大きく左右されることなく、売上は乱高下しなくなっている」という話をよく聞くようになってきている。
	□	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、この時期は落ち込む傾向にあるが、顕著な落ち込みもなく、ほっとしている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・季節的要因も受けず、稼働している。
	□	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・7月の売上は前年同月比13.6%減となっている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の受注が好調で、フル生産を続けている。その他の分野も増産の話はあっても減産の話はなく、対応に苦慮している。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月に引き続き、半導体不足の影響で自動車の減産が続いている。回復の見通しは立っていない。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・東京オリンピック需要により、大型テレビやBDレコーダー等の物量が増えている。また、猛暑により夏物家電のエアコン、サーキュレーター、扇風機等の物量も増え、前年並みの実績を確保している。
	□	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が一服したため、延期になっていた管理、清掃業務を実施し、売上は確保できている。ただし、先方の経済的余裕がないため、その他の業務は受注できずにいる。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告出稿件数、金額共に変わらない。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・人出や人の流れはほとんど止まった感がある。季節や時期なりの年中行事やイベント等が、相次いで縮小や中止になっている。人の流れや関連した物の流れや取引が盛り上がりを見せていないなかで、地域経済は沈んだままである。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・淡々と進んでいくというか、ほとんど毎月同じくらいの売上である。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・相変わらず、厳しい状況が続いている業界がある。人出は増えてきているものの、すぐには個人消費回復とはいかないようである。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化はみられない。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が影響している。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。新年度がスタートして3か月たったが、今期の公共工事関係は、県で前年比65%、市町村で同比83%と大幅減である。前期は大雨による災害復旧工事発注があったが、それが終了した結果である。建設業者も、近年は廃業する会社が増えている。災害時には重要な業種であり公共性があるが、新卒学生の希望業種ではないので、今後じり貧になってくる。当社の今期決算は赤字が心配である。
雇用関連	◎	—	—	—
(北関東)	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・住宅関連は、外壁改修や塗装、塗り直し等が目立ち、建築関係の営業や、ガス、水道関係のメーター機器の改善等で営業が出始めている。家電は、サーキュレーター等の循環用器具が出てきている。製造関係は自動車部品等の一部、電子関連、スマートフォン関連で、根強い動きがある。
	○	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・自動車関連と食品関連の派遣求人が増えているため、やや良くなっている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造関係の求人や派遣求人が増加しており、製造業の回復が見られる。それに伴って、運輸業も増加となっている。

○	学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・東京オリンピックが開催され、イベント実施への抵抗感が薄れている。人や物の動きが活発になり、経済が動き出した感がある。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響による巣籠り生活で、ゲーム機器やカメラ等の趣向品の需要があるため、光学部品やカメラ部品の組立て、カメラレンズコーティング等の求人や、自動運転、電動化に伴う自動車部品製造の求人が増加している。一方で、雇用調整助成金の申請は依然として一定件数続いているため、変わらない。
▲	*	*	*
×	*	*	*